

# 要望書提出

- ④ 焼山地区における落差工の損傷復旧及び河床安定施設（魚道を考慮した施設）
- ⑤ 入田茂沢、本蒲沢川における河川改修



上台川現地調査

- ③ 下野明地区における河岸洗堀法面崩壊箇所の災害復旧工事
- ② 上台から金山川合流点までの河床安定施設（帯工下流にブロック設置等）
- ① 上台地区の国道13号線との交差部の河床幅狭小箇所の改修

## ○上台川河川改修についての要望書

9月定例会で上台川沿い7地区の区長連名で上台川河川改修についての請願が提出され、産業厚生常任委員会に付託して審議を行った結果、本会議で採択となった。請願が採択されたことを受け、議員発議で追加提案した上台川河川改修についての要望書が可決されたことに伴い、河床整生と次の5点について早期に実施するよう要望書を県知事に提出した。

9月1日付けで、もがみ北部商工会、もがみ北部商工会金山支部及び金山町経営者懇話会から町議会に「荘内銀行金山支店存続に関する要望書」が提出された。また、9月9日に開催した議会全員協議会で町長から荘内銀行金山支店に関する店舗統廃合の可能性について状況説明を受け、町では8月17日付で、荘内銀行代表取締役頭取に「荘内銀行金山支店存続に関する嘆願書」を提出し、金山支店の廃止について再考をお願いした旨、議会に説明された。

このようなことを踏まえ、町議会としては、議会全員協議会で協議を行った結果、町経済の発展や、町民との結びつきなど荘内銀行金山支店が担っている役割は大きく、その存在がなくなることは町民にとって多大な影響を及ぼすものであり、議会として荘内銀行金山支店の存続について強く要望することとし、9月21日に矢口議長が町長、もがみ北部商工会支部長とともに荘内銀行本部を訪問し、金山支店存続の要望書を提出した。

## ○荘内銀行金山支店存続についての要望書

グリーンバレー神室の経営改善と交流人口拡大を図るため、金山町を応援したいという方々から講話を頂いている山形大学東北創生研究所長 村松真氏、吉野敏充デザイン事務所代表 吉野敏充氏、大商金山牧場社長 小野木重弥氏の3氏から聞いた。

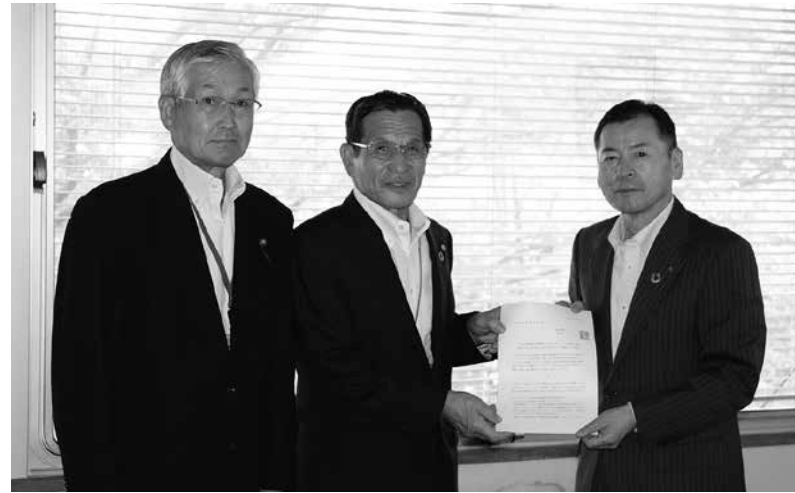
また、「谷口がっこそば」でアドバイスを受けていた山形県商工会連合会エキスパートで仙台市在住 櫻井真理子氏から「金山の魅力の発信と交流人口拡大に期待すること」について助言をいただいた。町長はじめ執行部も同席し、グリーンバレー神室をはじめとした町の交流人口拡大策について意見交換を行った。櫻井氏には今後金山版交流人口拡大策を指導してもらうよう考えている。



交流人口拡大研修 櫻井氏講演 (9/16)

# グリーンバレー神室のあり方 ⇒町長へ意見書提出

—議会全員協議会・ポストコロナ交流人口拡大対策特別委員会報告—



町長へ意見書提出 (9/9)

## 町長説明

令和4年7月29日に開催された議会全員協議会において、町長からグリーンバレー神室あり方について一部を見直しについて説明を受けた。主な内容は左記の通り。町長の説明を受け、

- ① ホットハウス神室については、毎週1回休館とし、建物の換気を図ることにより、現在の施設で2年程度営業を継続すること。
- ② スキー場は譲渡先を見出せない場合は、令和5年度シーズンからの営業は行わないこと。
- ③ キャンプ場の利用者が増加していることから、キャンプ場、広場については継続して運営する。

## 町長に提出した議会の意見書

この説明をうけ議会で検討した結果、大きな異論はないが、町民の思いなどを考慮し、新たな視点に立った誘客策、経営改善策に取り組み、交流人口の拡大を図っていくために左記の意見書を提出した。

- ① グリーンバレー神室全体の施設運営と活用策を策定すること。  
来々9月までは最終検討結果を提示していただきたい。
- ② 経営継続施設については、経営責任意識を持ち赤字解消策に取り組むこと。  
経営コンサルタントの指導なども受けながら経営改善に務めていただきたい。
- ③ 拙速に結論を町民に周知するのではなく、町の財政状況を踏まえ、希望に繋がる今後のグリーンバレー神室の方向性を探すこと。  
譲渡先、指定管理先など協力事業者の模索を継続し、努力していただきたい。